

2020 年 8 月 27 日

各位

株式会社レグラス

## 「EagleEye®II」および「HawkEye」を国土交通省の NETIS に登録

株式会社レグラス（以下レグラス、代表取締役社長：古澤 弘毅 本社：東京都新宿区）の建設・産業車両搭載可能 AI カメラ「EagleEye®II」と「HawkEye」は、国土交通省の新技术情報提供システム (NETIS) に登録されました。

NETIS 登録番号：KK-200027-A

登録日：2020 年 8 月 27 日

※公開情報はこちらからご覧ください。 [技術名称：車両搭載可能 AI カメラ](#)

### ・[NETIS 新技术情報提供システム](#) (New Technology Information System)

民間企業等により開発された新技术を公共事業全般に積極的に利用できるよう、情報の共有および提供するために国土交通省が管理しているデータベースです。

NETIS に登録された技術を使うことにより国や地方自治体が発注元となる公共工事にて、工事成績評定や総合評価方式の入札での加点対象\*となります。

\*配点は地方整備局などによって異なります。詳細は地方整備局などにお問合せください

今回 NETIS に登録された建設・産業車両搭載可能 AI カメラ「EagleEye®II」と「HawkEye」は、カメラに搭載されている FPGA にて、AI (ディープラーニング) の推論エンジンで立位、転倒、座位、体の一部が見えない状態などの複雑なあらゆる姿勢の人物をリアルタイムに検出可能となります。また、検知対象の人物までの距離を測定し、設定した危険領域に応じて警報信号を出力する安全監視カメラです。

従来は作業員や誘導員目視によって安全監視を行っていますが、本技術を活用することにより、建機や産業車両の後方視界等の監視の自動化ができるため、安全性および施工性が向上します。

また、既存設備に後から取り付けることも可能なため、従来よりも安全な作業環境を最小限の投資でご提供することが出来ます。

建設現場、工場等で発生する労働災害削減に向けて、企業として対策を行う必要性が増加しています。NETIS への登録を契機に、こうした現場の安全対策に活用されることが見込まれます。

国及び地方公共団体等の発注者様、施工業者様、コンサルタント様は是非公開情報をご覧の上、製品活用をご検討ください。

## ● 「EagleEye®II」 のご紹介



### 仕様

- ・検出範囲 1.0m~10m
- ・検出水平視野角 120°
- ・検出垂直視野角 90°
- ・防水防塵筐体 IP66
- ・振動試験 JIS D1601
- ・使用温度 0℃~55℃
- ・電圧 12V~48V対応
- ・CNN搭載



★豊富な EagleEye®II 専用オプションもご用意しております

アナログモニター、録画機能、積層表示灯、パネル PC

[https://www.reglus.co.jp/products/ai\\_camera\\_system/](https://www.reglus.co.jp/products/ai_camera_system/)

※EagleEye はレグラスの商標登録商品です。登録商標第：6180104 号

## 株式会社レグラスについて

レグラスは「見る、捕る、解析する」をキーワードとして、画像処理ソリューションを展開する会社です。

エッジコンピューティングを実現できる自社製のインテリジェントカメラシステム「サミットシリーズ」を提供し、様々な用途でのロボットビジョンの実現に貢献していきます。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社レグラス TEL：03-5362-1205 E-mail：info\_qa@reglus.co.jp